

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

根岸中学校は生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、自らの可能性を信じてたえず成長していこうとする人間の育成を目指します。

【知】自ら進んで学び、粘り強く課題を解決する力	【主体的に学びに向かう態度】
【徳】他の命を尊重し、やさしさと感謝の気持ちで他者に接する心	【寛容性】
【体】基本的な生活習慣を身につけ、健康・体力づくりに励む姿	【健康の維持】
【公】地域とのかかわりを大切にし、進んで行動する態度	【地域・社会性】
【開】様々な人々と関わり、社会の発展に貢献する生き方	【より良く生きようとする態度】

教育課程全体で育成を目指す資質・能力

心身のたくましさと心のしなやかさを兼ね備えた生徒	具象化した資質・能力 【主体的に学びに向かう態度】 【寛容性】 【健康の維持】 【地域・社会性】 【より良く生きようとする態度】
コミュニケーションや論理的思考につながる言語活用力	

中期取組目標

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、育成する資質・能力の伸長を目指します。
- ・困難を克服するために、集団づくりを通して自他を尊重し、コミュニケーション力を向上させます。
- ・「食」の大切さを理解し、体力づくりを通して心身ともにたくましく生きる力を身に付けます。
- ・地域や社会のために他者と協働する力をつけています。
- ・粘り強く諦めない心を育て、人間性の向上を目指します。



学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的な取組
充実した学びの保障	①新学習評価の二年目となり、昨年度の評価方法等を振り返り、研修会を実施し、授業改善・評価改善につなげていく。(学習指導部) ②GIGA端末を活用した授業展開、ネット配信教材を利用した自学習の推進を図る。(GIGA利活用推進委員会) ③学力・学習状況調査の分析を通じて個々の生徒や学年集団の実状を把握し、指導の改善につなげられるよう支援する(教務)
担当 学習指導部	

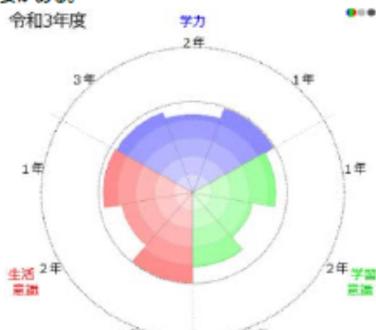
学力向上に関する本校の状況

比較的落ち着いて授業に取り組んでいる。各教科においても、新学習指導要領に沿って、単元ごとの評価や振り返りを行っている。

GIGA端末を活用した授業も積極的に取り入れ、主体的な学びにつながるように生徒の支援を行っている。

しかし、昨年度の学力・学習状況調査を見ると、2年生(現3年生)の学力、学習意欲、生活意欲のすべてにおいて、他学年より低いことが際立っている。学力層Cとなる生徒が多く、学力層の底上げをしていく必要がある。

コロナとともに中学校生活をスタートし、休校や分散登校、集団活動の制限等が実施され、学習に対する十分な時間の確保が難しい中で、自信をつけることができなかったとも考えられ、今年度の大きな課題である。充実した学びの保障ができる取組を進めていく必要がある。



今年度の目標

- 【知】自ら進んで学び、粘り強く課題を解決する生徒を育てる(学校教育目標より)
自分の力を信じて、主体的に学びに向かう姿勢を育てる。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	○学習支援の充実を進める。 ・3年生の数学少人数授業、英語全授業でのTT実施 ・授業以外での学習支援 放課後学び場、夏休み学習会
	○学習状況調査を分析し、生徒の実態を把握し、指導方法や評価方法を見直し、授業改善につなげる。 ・指導主事を招いた評価に関する研修会の実施
下半期	○ネット配信教材を利用した自学習の推進
	○公開授業や授業アンケートの実施 ・生徒、保護者の声を聞く機会をもうけて、授業改善や個に応じた指導をさらに進めしていく。